

Game Prep Report

Fighters Intelligence Lab(非公式・個人分析プロジェクト)

試合情報

対戦カード	ファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
試合日	2026年8月7日(ホーム)
球場	エスコンフィールドHOKKAIDO
予想先発	達(F) vs 未定(E)
データ更新日	2026年8月9日

Executive Summary

福岡ソフトバンクとの3連戦(1勝2敗)を終え、本拠地エスコンフィールドで楽天を迎える。6日はレイエスの2ランと8回の一挙4点で6-2と勝利し、連敗を2で止めて締めくくった。通算成績は57勝45敗、パ・リーグ3位(首位と7.5差)。今季の対楽天は10勝6敗0分と得意にしているカードで、先発は達孝太(3勝6敗・防御率3.21)、相手はJ.ウレーニャ(2勝4敗・防御率4.81)。達是对楽天2試合で防御率1.00と相性抜群、ウレーニャも対ファイターズは1試合ながら防御率0.00と両者ともにこの対戦相手には結果を残しており、投手戦になる可能性がある一戦。

Matchup Focus

Fighters	東北楽天ゴールデンイーグルス
打線状態: 直近5試合2勝3敗(平均得点3.4・平均失点3.0)。6日はレイエスの一発と終盤の集中打で6得点を奪う反発力を見せた。	打線状態: マッカスカ(打率.268・OPS.885・15本・40打点、57試合出場の一発持ち外国人)、辰己涼介(打率.280・OPS.781・9本・34打点)、浅村栄斗(打率.217ながら9本・35打点と長打力は健在)が中心。
先発投手状態: 達孝太が予告先発(20試合3勝6敗・防御率3.21・WHIP1.08)。対楽天は2試合1勝0敗・防御率1.00・WHIP0.89と非常に相性が良い。	先発投手状態: J.ウレーニャが予告先発(10試合2勝4敗・防御率4.81・WHIP1.60)。全体は苦しいシーズンだが、対ファイターズは1試合0勝0敗・防御率0.00・WHIP0.40とこの一戦に限れば大きく分が悪い相手ではない数字。
ブルペン状態: 6日は先発・細野が試合をつくり、終盤は逃げ切りで大きな負荷はかかっていない。	チーム状態: パ・リーグ5位。
最近の試合傾向: 直近5試合2勝3敗、直近10試合5勝5敗。先制時勝率.667(38勝19敗)。	最近の傾向: 今季の対ファイターズ戦は分が悪く(F視点10勝6敗)、エスコンではさらに苦戦している傾向。

Win Path

- 序盤に相手先発へ球数を投げさせる
- 3回までに先制点を取る

- 3. 5回終了時点でリードを保つ
- 4. 相手中軸の前に走者を溜めない
- 5. 7回以降は勝ちパターンの継投で逃げ切る

Key Takeaway: 先制点を取り、5回終了時点でリードしてブルペン勝負に持ち込めるかが最大のポイント。

Risk Path

- 1. 四球や守備ミスで走者を出す
- 2. 相手中軸の前に走者を溜める
- 3. 長打で複数失点する
- 4. 追う展開で相手勝ちパターンを投入される
- 5. 終盤に得点機会を作れず敗戦

Key Takeaway: 無駄な走者を出した状態で相手中軸に回す展開が最大のリスク。

Game Plan Hypothesis

今季の対楽天は10勝6敗0分と得意なカードで、先発・達も対楽天防御率1.00と相性が良い。ウレーニャも対ファイトーズでは無失点実績があるため、投手戦を想定した守り勝ちのプランを軸にしたい。打線はマッカスカー・辰己・浅村の一発を警戒しつつ、先制点を奪って達を楽にする立ち上がりが理想。ソフトバンク3連戦で終盤の勝負強さを見せた勢いのまま、連勝発進を狙う。

Data Notes

使用データ	NPB公式サイト、公開されている試合結果・個人成績、イニングスコア等
集計対象期間	2026年シーズン、対象カードの過去対戦成績
データ取得日	2026年8月8日
データ入力方法	公開データをもとに手動入力、またはCSVインポートにより登録
注意事項	使用データ: NPB公式サイト(npb.jp)の試合結果・個人成績(2026年8月6日時点)、プロ野球Freakの予告先発投手・イニングスコアを独自集計 集計対象期間: 2026年3月27日～8月6日(全102試合) 注意事項: 本レポートは非公式の個人分析であり、球団・NPBとは関係ありません。先発投手は試合前の予告先発情報であり、変更される可能性があります。

本サイトは北海道日本ハムファイターズ、NPB、その他関連団体とは関係のない非公式の個人分析プロジェクトです。